平成 25 年５月 10 日

各　位

会 社 名　　第 一 実 業 株 式 会 社
代表者名　　取 締 役 社 長　山 片 康 司
（コード番号　８０５９　東証第１部）
問合せ先　　ＩＲ・広報部長　田中誠一郎
（ＴＥＬ　　０３－５２１４－８６１１）

新中期経営計画　ＡＩＭ２０１５ について

***A**ggressive　**I**nnovation*

*for　**M**ulti-functional　Global　Business*

多機能性を持ったグローバルビジネスへの積極的革新！

当社は、２０１３年度（平成２６年３月期）から２０１５年度（平成２８年３月期）までの３ヶ年にわたる中期経営計画を策定いたしました。概要につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

Ⅰ．中期経営計画策定に対する考え方

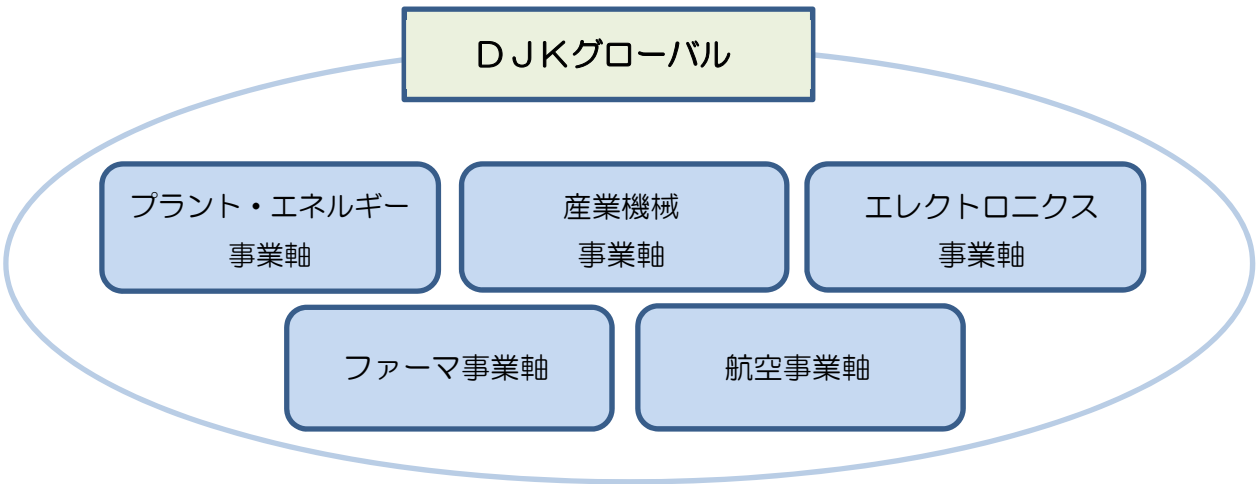
２０１２年度（平成２５年３月期）を最終年度とする前中期経営計画においては、「信頼されるグローバル・ビジネス・クリエイターへの積極的挑戦」をビジョンとして、これまで推進してきました海外事業展開の地域軸をさらに拡大いたしました。中期経営計画２年目に発生した東日本大震災と福島第一原発の事故、タイの洪水など大災害の影響による市場の混乱や、長引く円高等、わが国経済が必ずしも良好な状況とは言えない中にあっても、当社は積極的な営業活動を推し進め、中期経営計画の目標値を着実に達成することができました。

２０１３年度（平成２６年３月期）からの新中期経営計画「ＡＩＭ２０１５」においては、「多機能性を持ったグローバルビジネスへの積極的革新！」をビジョンとした５つの事業を柱とする構造改革を実施し、柔軟で機動的な事業軸体制へと移行してまいります。それぞれの事業が意思決定と経営資源の最適化をグローバルかつスピーディに行い、事業拡大と収益力強化を図ってまいります。また、新基幹システムを導入し、業務効率化・内部統制・リスクマネジメントなどグループ経営の基盤強化も図ってまいります。

１．事業軸経営への移行によるビジネスの拡大
２．事業軸経営への移行と経営強化・効率化の推進

を基本方針とし、中期経営計画の最終年度の２０１５年度（平成２８年３月期）は、売上高 155,000 百万円、営業利益 5,700 百万円、当期純利益 3,700 百万円、を目標といたします。

ＤＪＫグローバルにおける５つの事業軸

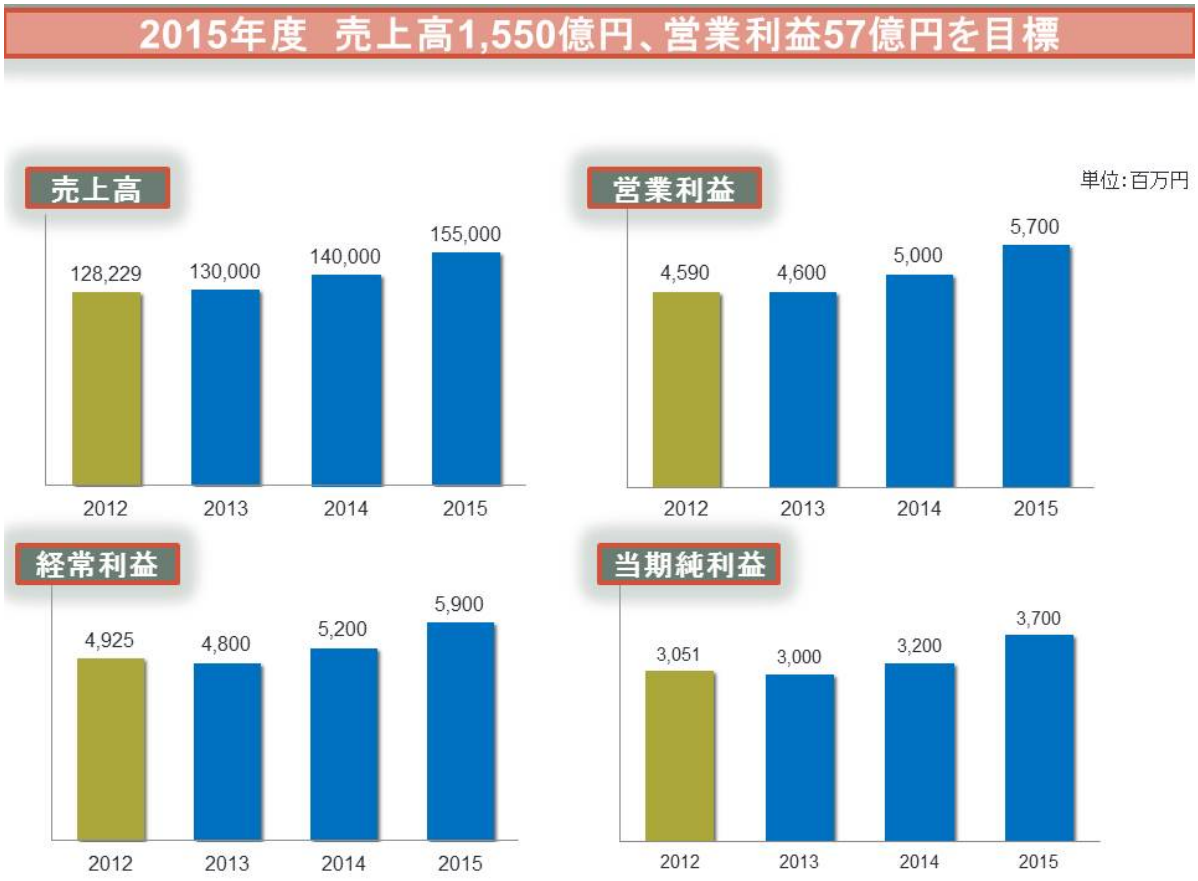


Ⅱ．定量目標

連結経営目標

単位：百万円

	２０１２年度（実績値）	２０１３年度（計画値）	２０１４年度（計画値）	２０１５年度（計画値）
売上高	128,229	130,000	140,000	155,000
営業利益	4,590	4,600	5,000	5,700
経常利益	4,925	4,800	5,200	5,900
当期純利益	3,051	3,000	3,200	3,700
総資産	81,478	84,000	88,000	92,000
自己資本	28,861	31,000	33,000	36,000
有利子負債	7,486	8,000	8,000	8,000
ＲＯＥ（％）	11.2	10.0	10.0	10.7



Ⅲ．定性目標（基本方針の内容）

１．　事業軸経営への移行によるビジネスの拡大

１）グローバルなビジネスを徹底捕捉

① 経営資源最適化と戦略的投資

② コア・ビジネスの深耕による収益の拡大

③ 新たな成長市場の獲得

２）広範囲な営業力とエンジニアリング集団としての強み、高付加価値の創造

① 新エネルギー事業の開拓と優位性の確保

② 開発商材と既存商材を組み合わせた最適生産システムの提供

③ 成長分野と独自商品開発への積極的投資

２．　事業軸経営への移行と経営強化・効率化の推進

１）事業軸経営システムの整備・転換

① 事業軸移行に伴う社内基盤の整備

② 情報インフラの整備

③ 物流の多様化対応とリスク管理およびコスト削減

２）意識改革および人財の育成

① ポリシー・ルール・マニュアルの策定および徹底活用

② リスクアプローチとガバナンス教育の徹底

③ ＣＳＲ・環境への取り組み強化

３）財務体質の更なる強化

① 自己資本比率の向上・ＲＯＥ10％の維持

② 有利子負債の有効活用

③ グローバル展開に伴う債権回収リスク管理の強化

以　上